



夜の雪外燈無音のシンフォニー	宮坂 秋湖
水槽の底からはがす寒鮭	中村 重幸
獅子頭外し暫く人でなく	浜田はるみ
並びたる同形異夢の寒卵	村上 葉子
逆光の暗みへ隠る鎌鼬	澤田 英紀
一村を温むるやうに冬霞	川高郷之助
晴れ渡ることの淋しさ冬の蝶	須賀ゆかり
春光をまぶし漢江たうたうと	広海あぐり
春雪の未練は汚れ易きかな	菅原 健一
リア王の長き独白冬銀河	本池美佐子
陽を恋うて細くなりたる水柱かな	中谷 恭子
花の兄や死装束の荒行僧	柿内 清一
さてさてと俎上の海鼠口どちら	吉村さよ子
寒卵はつと生まるる向学心	古谷由紀子
注連飾る千代の天突く御神木	長山 正子
とんがって生くるも一世鳥雲に	千田 百里
浅春や指輪休めの貝の皿	辻 美奈子
立春大吉水は両翼揚げたり	平松うさぎ
夜の雨の弾力をもて春来る	甲州 千草
芽起こしの雨かスープの豆の色	辻前富美枝
縄文の水の楽想草つらら	矢崎すみ子
一月の山のこだまは行つたきり	能美昌二郎
一献が入り雪焼の頬なほも	大畑 善昭
小波は光のかけら春近し	栗原 公子
つややかに餡炊き上ぐる雨水かな	田所 節子
水鳥をびつしりのせて潮しづか	大川ゆかり
白雲の墨汁ほかし雪来るか	細川 洋子
立春大吉五枚複写に力込め	林 昭太郎
斜めとは急ぐかたちや春北風	七田 文子
立春の光の中の精米機	小林 陽子

